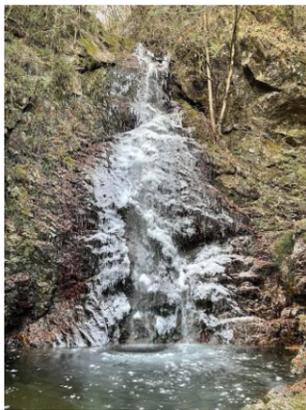


弘沢の滝冬まつり

毎年、協力隊でお手伝いさせていたでいて、弘沢の滝冬まつり。今年も『氷瀑クイズ』『氷のオブジェ』が行われています。昨年12月に弘沢の滝の遊歩道がウッドチップ舗装され、とても歩きやすくなっています。また、例年は業者をお願いしている氷のオブジェですが、今年は滝まつり実行委員会で氷のオブジェを自作しました。

小正月の繭玉をモチーフにしたオブジェと氷のオブジェになっています。ぜひ、現地でお楽しみください。(加藤)



地域おこし協力隊 活動報告会のお知らせ

地域おこし協力隊員4名の活動報告会を、下記の通り開催させていただくこととなりました！

都市部から移住し、自身の知識や経験を生かしながら、どんな活動に取り組んでいるかを知っていただける機会となりますので、ぜひご来場ください！(申込不要、入場無料です)

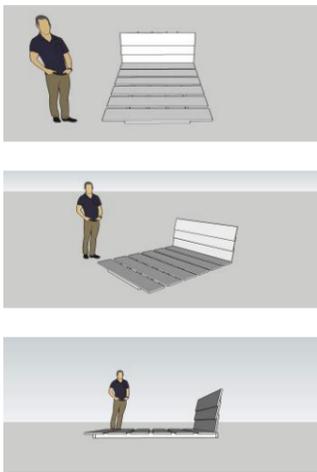
開催日時: 令和7年3月16日(日)
午後1時30分から午後3時30分

開催場所: 檜原村役場3階 住民ホール

内容: 地域おこし協力隊事業の概要説明
隊員4名による活動報告、質疑応答 など
会場に各隊員の活動についてパネルを展示
報告会終了後は、村役場1階のエントランスに報告会の際に使用したパネルを展示

◎問い合わせ先: 檜原村役場企画財政課むらづくり推進係
042-519-9556

TONKAN



今回から連載予定のトンカンというコーナーです。私の趣味でもあるDIYや家具製作を紹介して、ご希望があれば受注販売したいと考えています。今回は、ベッドフレームを作りましたが、椅子などの家具からツリーハウスなどの大きいものまで作れますので、紹介します。

まず、構想を練ってスケッチを起し、三次元モデルを生成します。立体的なイメージがついてから本製作を始めます。



右の写真のようにベッドフレームが出来上がりました。

『ホームセンターで買える材料でかっこいい家具を』をコンセプトにこれからも製作していきたいと考えています。また、解体された家の廃材を使った家具の製作もしてみたいと考えていますので、廃材の処理に困っているなどありましたらお声がけください。(加藤)

ほいせん コーヒー豆の焙煎はじめました!

昨年の12月中旬からコーヒー豆の焙煎をしています。

炒る前の生豆を、手網焙煎機の中に入れ、皿式のコンロで温めていくと、数分後には香ばしい匂いがしてきます。さらに数分経つと、豆が茶色っぽくなり、パチパチという音を立ててはじめていきます。豆の中の水分が蒸発し、豆が膨らんで、焙煎が進んでいきます。豆の種類によって、おいしく飲める焙煎の深さが違います。長くても20分くらいで焙煎を終わらせます。

焙煎が均等に進むよう、手網を振り続けるのがなかなか大変です。



左: 焙煎後の豆 右: 生豆



手網焙煎機

ブラジル、コロンビアなど、7種類の豆を焙煎し、それぞれの味の違いや、時間が経つてからの味の変化を、楽しみながら検証しています。

今後、檜原村産の炭を使って、コーヒー豆の焙煎ができるのか、という構想があり、少しずつ準備を進めています。村で使っていた七輪や火鉢なども焙煎に使えたら、と考えていますので、情報をお持ちの方がいらしたらお声がけください。(松本)



／ 空き家の相談受付中 ／

空き家ありませんか？

檜原村役場むらづくり推進係まで!

☎042-519-9556

檜原村での畑わさび林間栽培の可能性



林間土壌で本わさび栽培

本わさびの栽培方法で良く知られているのは、沢などの流水を利用した水耕栽培です。その市場価格は1kg1万円近くなることもある高級品であり、かつては檜原村でもわさび生産組合があったほど盛んに生産がおこなわれていたと伺いました。しかしながら現在ではその当時のわさび田の多くが豪雨等の災害により被害を受け、生産者の高齢化や逝去により、栽培をや

めてしまったわさび田も少なくないと思います。これは全国的にも同じことが言われています。その様な時代背景と共に、災害に強い栽培方法として注目されたのが、林間を利用した本わさび土壌栽培「畑わさび」です。

災害リスクと獣害対策

この栽培方法の大きなメリットは、水害に合わないことです。流水はおろか、水やりもおこなっていません。こうして育つ本わさびは、いわゆる擦りおろす部分「根茎」が発達しない代わりに、ひげ根が発達し、地上部の葉が良く育ちます。しかし檜原村では、獣害に頭を悩ませます。私の畑にも様々な動物が姿を見えますが、現在はシカによる被害のみに留まっています。



栽培期間と成果物

この良く育った葉以外の「茎」「根茎」「ひげ根」が生産物になります。この畑わさびは主に練りわさびの原料とされ、なじみのある、お刺身に付いてくるわさびや、

生産コストと利益計算

18か月栽培してみた現時点での大まかな予測見積もりは、1㎡に20cm間隔で25株植え付け、100㎡で栽培した場合2千500株。収穫時に1株当たりの重さが300gとして1kg450円で売れると売上額約34万。生産コストとして、①開墾、②土づくり、③畝立て、④獣害対策、⑤植え付け、⑥草取り、⑦施肥、⑧収穫、⑨出荷、⑩予備作業に各1日ついでとしたとして、10人分の人権費。10万円。資材費3万円、肥料、輸送費各1万円、合計15万円とすると、利益19万円の計算になります。この計算は苗の提供を受け栽培した場合です。遠野市では、わさび公社で苗をつくり生産者へ1苗60円で卸して



チューブわさびが代表的な製品です。また、根茎の成長を待たずに集荷をするため、栽培期間も14か月〜22か月と沢わさびよりも短い栽培期間で出荷します。

出荷方法と販売経路

現在の販路は、苗の提供を受けている「株」静わさびです。買い取り単価は、根の土砂洗いと葉の切り落としをおこなった株の工場持ち込み価格で、1kg単価450円です。この単価は、畑わさび栽培が盛んな岩手県遠野市も同じ単価でした。

対策はネットで畑を囲うか、防虫ネットで覆う、二通りで対策できています。何も対策していない畑も一割程度の被害です。また、シカは若い株程食す傾向にあり、大きく育った株には被害が出ていません。



空き家相談窓口のご報告

前回のSPOONでも書きました。が、空き家相談窓口が開設され、担当として関わらせていただいております。

自宅や山林、畑について、相談を受けて、どのようにしたら解決するかを、それぞれの相談内容に合わせて、対策の立案とご説明をさせていただきます。

私もお不動産や相続の勉強を始めて約一年が経ちました。最初は、わからないことがばかりで、難しいと感じることが多かったです。

ご相談いただく方も同じ感覚かと思いますが、一つ一つ解決していくことで、今後の見通しが立ちます。お気軽にご相談ください。



- 私が学んだことを少し書かせていただきます。
- 〈相続が済んでいない場合〉
- ① 相続人を確定させる。
必要書類「改製原戸籍」
 - ② 被相続人の死亡日を確認する。
必要書類「除籍謄本」
 - ③ 相続財産を確定させる。
必要書類「固定資産税評価証明書」
 - ④ 権利関係の確認
必要書類「登記簿謄本」
- それぞれが何かわからなくても、ご説明や書類の取得方法からお手伝いさせていただきます。(中澤)



地域おこし協力隊へのご依頼は
檜原村役場 むらづくり推進係へ
☎042-519-9556

協力隊 Facebook は
QRコードから！



(加藤)

に張り付いています。が、この半年で、村内外の多くの人と知り合い交流を深めることができました。新年度はさらに活発に活動していきたいと考えております。よろしくお願ひします。

人里のどんど焼きのお手伝いしてきました！

竹の切り出し、組み上げ、杉の葉などを中に詰め込む作業をお手伝いしていました！
かなり大きいですが、重機は使わずに完成しました！

昨年に引き続き参加させていただきました！
地域の方だけではなく、親戚の方も集まり、大人数での開催となりました。火を付けるのは、年男・年女の方で、6名の方が火を付けてくださいました。火を付けてからは、恒例？のビンゴ大会で盛り上がり、景品もたくさん種類がありました。
私はレイポスターが当たったので、今年はレイポスターをたくさん飲んでみます！
(中澤)

編集後記

移住してきて半年が経ちました。故郷である北海道とは違った寒さに未だ馴れず自宅ではストーブに張り付いています



- 地域おこし協力隊 メンバー
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ともさわ 友澤 | ゆうき 勇紀 | なかざわ 中澤 | だいき 大樹 |
| かとう 加藤 | りんけい 綸啓 | まつもと 松本 | よしふみ 圭史 |
- 市内で見かけたら、お声かけください！